

11月23日(月)

## 強い絆で結び合う

聖書朗読 ヨハネ 18:33~40

イエスは答えられた。「わたしの国はこの世のものではありません。もしこの世のものであったなら、わたしのしもべたちが、わたしをユダヤ人に渡さないように、戦ったことでしょう。しかし、事実、わたしの国はこの世のものではありません。」

ヨハネ 18:36

私の娘は編み物をするのですが、毛糸の目をきれいに揃えて編み物を仕上げていくその腕前は見事なものです。その編み物を仕上げていく様子を見ると、私は次の事を思うのです。イエス様がユダヤ人の王として責めを受けピラトの前に引き出されたとき、ピラトはイエス様に尋ねます。なぜあなたに従う者たちはあなたを助けるために戦いに来ないのかと。さらに、イエス様を引き渡したのはユダヤ人ではないかと言うのです。これに対しイエス様は、今日のみ言葉にある「わたしの国はこの世のものではありません。」と答えられました。

ここでピラトは、この世の視点でイエス様が捕らえられた出来事を見ていますが、イエス様はすぐさま、イエス様たちの捉え方はこの世とは異なるということをピラトに諭そうとされました。イエス様としもべたちはともに強いきずなで結び合わされ、イエス様の王国はこの世のものではないとして、彼らはそれを待ち望んでいました。イエス様はしもべたちに共に堅く立ち、イエス様のなさることが実現するのを待つようにと教えられました。私たちは主を信じる者として、イエス様がすべてを支配してくださることを覚えつつ、この世の長い旅路をともに強い絆で結び合いながら進んでいくことが大切です。

讃美歌 403

祈り お父様。あなた様を中心として私たちが強い絆で結び合いつつ共に歩むとき、あなた様の備えられたご計画とあなた様の忍耐を感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

シェリー・リームズ  
テキサス州 ラボック

## 今日の力

2020年11月23日~11月29日

翻訳 藤岡 伸子

編集 野口恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月24日(火)

## 義がなければ慈愛もなく

聖書朗読 ヨハネ 19：1～15

しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。 イザヤ 53：5

あの晩の出来事によってこの世は悲しみに包まれました。人々を救う使命を持った人物に向かって、誤った信仰に導かれた融通のきかない熱狂的な者たちは、嫉妬の混じった怒りを吐き出しました。その人物とはイエス様です。イエス様を捉えた、復讐心に満ちた者たちは彼らの律法を曲げて解釈していたようです。彼らは、汚れること、そして、過ぎ越しの祭りの食事が出来なくなる事を恐れてローマ人の宮殿に入ることを避けていました。けれども、偽りの証言は喜んで行い、イエス様が奇跡の御業を行い愛について教えられていることについて、それが死に値すると思いました。さらに、イエス様を死罪とすることを法に則ったものと見せるため、ローマ人の手によって処罰することを望みました。というのは、ユダヤ人は何人も処罰する権限を与えられていなかったからです。

あの恐ろしい出来事の夜、神の御子を捕らえた憎しみに満ちた者たちは、人々に大変愛された人物をこの世から消し去ることが正しい使命であるということ、他の者たちに納得させ、また、恐らく自らも納得するのに苦心したことと思われま

す。けれども、この恐ろしい死という出来事の後に素晴らしい出来事が起こりました。空っぽになったお墓、そして、嬉しい知らせです。「イエス様は蘇られた」のです。イエス様は今もそして永遠に生きて働かれ、ご自身を信ずる者たちを驚かせてくださっています。主を褒め称えましょう。

讃美歌 148

祈り 天のお父様。あなた様を愛し、死をもって示されるほど私たち神の家族を愛してくださるイエス様を感謝します。どうか、私たちの造り主であり贖い主なるイエス様にお目にかかる時まで、私たちに愛を注ぎ続けてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

トラビス・アレン  
コロラド州 センテニアル

11月25日(水)

## 信じそして食べなさい

聖書朗読 使徒 1：1～5

初めからあったもの、私たちが聞いたもの、目で見えたもの、じっと見、また手で触ったもの、すなわち、いのちのことばについて、このいのちが現れ、私たちはそれを見たので、そのあかしをし、あなたがたにこの永遠のいのちを伝えます。

Iヨハネ 1：1

使徒の働き1章には、イエス様が「彼らと一緒にいるとき(食事をしていたとき)」という記述がありますが何故でしょう。興味深いことにルカやヨハネにも、イエス様が蘇られた後弟子たちと共に食事をされたという場面がよく記されています。

イエス様が天へ昇られた日、2人の弟子とエマオまで歩かれたときも彼らのところへ立ち寄り共に食事をなさっています。ルカには、「彼らとともに食卓につかされると、イエスはパンを取って祝福し、裂いて彼らに渡された。」(ルカ24：30)という記述があります。

この出来事の後にイエス様は群衆の前に現れましたが、肉となって現れたということ、彼らが信じないため、「何か食べ物がありますか。」と尋ねられ、彼らが魚一切れを差し上げると、イエス様は彼らの前でそれを取って召し上がったと記されています。(ルカ24：36～43)

三度目にイエス様が現れたときも、食事にかかわっておられます。ペテロと他のしもべたちが漁をしていると、イエス様は岸辺に立たれ、「さあ来て、朝の食事をしなさい。」(ヨハネ21：12)と呼び掛けておられます。

イエス様はこの世のご使命を果たされる間、ご自身に従う者たちと食事をなさる必要があったのです。食事を分かち合うということは、いのちを分かち合うということだったのです。イエス様の蘇りの後の彼らとの食事は、ご自身が実際に肉の身体を持っておられ、捉える形のない霊ではないことをお示しになるためのものでした。十字架上で見られたのと同じ、刺された傷跡もあるお身体であることを示されたのです。

イエス様は今も私たちにこう言うておられます。「私は生きています。私とかわり、信じなさい。」

讃美歌 272

祈り 親愛なるイエス様。あなたは蘇られた私の救い主であることを信じます。聖霊により日々私にあなたのいのちをお分かちください。そして私のあなたへの畏敬の念を増してください。イエス様のお名前によって。アーメン。

リサ・ラングフォード  
テキサス州 ラボック

11月26日(木)

## 望みは高く

聖書朗読 ローマ 8:22~29

すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来る。

ヤコブ 1:17

「期待はあまり高くしない方がよい。その方ががっかりしなくて済むから。」このように言われるのをよく聞かれますが、これはその期待がどのようなものであるかに依るのではないのでしょうか。

両親の離婚により、母と義父と暮らすこととなった男の子がいました。その状況の中で様々な辛い出来事が起こりましたが、彼の実父と義父は信仰心の篤い父親達で、その息子に心からの愛を注ぎました。人間同士のもたらした悲しい出来事から、その息子には神様から二人の愛に溢れた父親が与えられたのです。

私達は、理想の人生を大きな期待を持って描くのではないのでしょうか。60年間の幸せな結婚生活。健康で90歳まで長生きし、子供達はしっかりとした信仰に根差したクリスチャンホームを築き、自分は定年を迎えたら海外旅行をする。夢は数えきれない程あるでしょう。しかしながら、人間の脆さのゆえに、こうした理想は崩れ去り、結局耐え難い失望を味わうこととなるのではないのでしょうか。けれども、どのような期待であっても、必要なものはすべて神様が備えてくださるのであれば、その期待は決して失望に終わる事はありません。神様は私達の混乱した状況を収めるのに忙しく働き続けておられます。

望みが叶わなかった事に目を向けるのではなく、その代わりに自分の周りに与えられている真に素晴らしいものを喜びを持って受けとりましょう。

讚美歌 349

祈り 親愛なるお父様。日々あなた様のお与えになる溢れる恵みを見るには、私達の目は乏しいものです。良く見える目と感謝の心をお与えください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ナンシー・ベーカー  
テキサス州 アビリン

11月27日(金)

## 神がともにおられるなら

聖書朗読 ローマ 8:37~39

私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。

ローマ 8:38~39

私達の歩みには期待通りに行かない事もあります。私の場合、例えば、何か大きな決断をしなければならぬとか、健康や経済面で不安があるとか、あるいは、ただちよとした事がうまく行かないだけであっても、ストレスを感じる状況に置かれると、ひどく心が落ち着かなくなり、憂鬱になり、怒りを覚えたり、あるいは、悲しくなったり、自分を哀れだと思ふようになってしまいます。私たちはそのような時、自分の周りは皆敵と思うようになり、また自分が哀れな存在と思えて来るのではないのでしょうか。大変深刻な問題の場合もありますが、小さなフラストレーションの積み重ねが人生における心の傷の始まりとなることもあります。

けれども私達は、キリストにあって抱く希望はこの世の出来事によって動かされる事はないという事を知っているため、平安があります。悲しみやフラストレーションが暫く続く事もあるでしょう。けれども、キリストとその永遠の御愛は、私達の直面するいかなる失望よりも大きいのです。イエス様は、私達がどのような困難な状況にあっても常に忠実でいてくださいます。そして「これらすべての事において、私達は私達を愛して下さる方によって輝かしい勝利を収めて」(37節) いるのです。

讚美歌 12

祈り お父様。私達がこの世の歩みにおいて大きな試煉に直面する時、あなた様から私達の思いが逸られる時、どうかあなた様がどのようなお方で、いかに私達を愛して下さるお方かという事を思い出させてください。今日も明日も何が起こるのかと私達が心を騒がせることなく、あなた様に信頼させてください。あなた様は私達のいのちの主であられます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ランドン・アンダーソン  
ホンジュラス・コーキンクパン

11月28日(土)

## 神の義と愛

聖書朗読 ローマ 9:14~18

神は私たちが行った義のわざによってではなく、ご自分のあわれみのゆえに、聖霊による、新生と更新との洗いをもって私たちを救ってくださいました。

テトス 3:5

私は幼少のころカウボーイごっこが大好きで、西部劇の主人公になりきってよく遊んだものです。ある西部劇のお話にはまっていた私は、ある夏の午後、そのストーリーにならってトウモロコシ畑を抜けて行くべく、父のワイヤーカッターを借りて我が家と隣のとうもろこし畑の間のフェンスに穴を開け、トウモロコシ畑を迷路のようにして、悪人を追う主人公になったつもりで友人と夢中になって遊んだことがありました。

その後、私が穴をあけてしまったフェンスの所有者である隣人のもとへ連れていかれたのですが、そのとき慈愛の教えを学びました。父はその隣人ブラウン氏にフェンスの穴を修理すると申し出たのですが、ブラウン氏は、トウモロコシを台無しにした事への償いとして私のお小遣いを取り上げないようにと、父の申し出を断りました。そして、「そもそもそのトウモロコシは収穫の予定はなかったんだ。あまり甘くないし、まだまだ沢山あるからね。」と言うのでした。

私たちの天の父も私たちの罪の代価を求められることはなさいません。それどころか私たちが心に掛け、私たちが喜びをもって日々過ごすことを望んでおられます。天の父はそのみすがたに似た者に私たちを造りかえてくださるのです。

讃美歌 86

祈り 親愛なるお父様。あなた様のあふれる慈しみは絶えることはありません。どうかその慈しみを私たちに降り注ぎ続けてください。私たちは自分の罪の為に罰せられるべき存在です。けれども、あなた様はその慈しみによって私たちの元へ降りて来られ私たちを引き上げてくださいます。あなた様の聖なる御名をほめたたえます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ポール・トーマス  
カリフォルニア州 ユカイパ

11月29日(日)

## 私たちはからだの一部

聖書朗読 Iコリント 12:12~27

からだはただ一つの器官ではなく、多くの器官からなっています。

Iコリント 12:14

何年前のことですが、子供たちの聖書クラスの教師を探して欲しいと頼まれたことがありました。その時志願してきた若い女性がいたのですが、私はどうすべきか迷いました。というのはその女性は社会性という点で一風変わったところがあり、身だしなみもあまり好ましいものではなかったからです。けれども私は試しにお願いしてみようと、彼女を幼稚科クラスに割り当ててみました。するとそれは大正解で、彼女は子供たちを心から愛して生き生きと輝き、子供たちも彼女が大好きになりました。私はこの事から、キリストのからだについてとても大切な教えを学ばされました。

「キリストのからだ」という表現は、新約聖書で用いられており、Iコリント12章27節でパウロは「あなた方はキリストのからだであり、また一人一人はその部分です。」と言っています。この箇所の前にパウロは肉の身体の各部分がそれぞれいかに大切かという点について語っています。目は手や足よりも重要ということはない、というのは身体全体が機能するのにそれぞれが無くてはならないものだからであると言っています。キリストのからだも同じです。各々が重要であって、何かしら役目を果たしているのです。表立って人に仕える者もあれば、裏で支える者もいます。すべての者がキリストのからだの役割を果たしているのです。

讃美歌 401

祈り 親愛なるお父様。私たちはキリストのからだであることを、私たちがクリスチャンとして覚えていられるようにしてください。私たちが自分のことばかり大切にし、他者を蔑んだりすることのない様にしてください。そうではなく、ひとつのからだとして共に働くことが出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

フィリップ・イーマン  
サウスカロライナ州 イルモ